

研修会から得られた知見

本事業では、「やまなし歴史の道ツーリズム」への理解を深め、ガイドスキルの向上を目的に「魅力向上・おもてなし研修会」を実施しました。参加者は、「やまなし歴史の道ツーリズム」に係るガイド、観光事業者、県・市町村の行政関係者、地域振興団体（観光協会、商工会・会議所ほか）などの皆様です。

第1回目は、山梨県立博物館学芸幹の森原明廣氏から、「やまなし歴史の道」とはどのようなものか、それを伝えていくための手法等について、長年にわたり山梨県内の文化財の保全等に関わってきた立場から専門的な知見を交えて情報提供いただきました。お話しいただいた内容の主要事項は本冊子の第1編にとりまとめています。続いて講演いただいた京都主宰の以倉敬之氏は、京都発着のまちあるきツアーを展開する事業を手がけています。NHK「プラタモリ」に企画協力するなど、高度なメッセージを地元ガイドが伝えるというツアーを多数実施し、どのツアーも満員となるほどの盛況を得ています。観光ではこれまで余り注目されてこなかったような地元資源にも光をあてた、地域主体の観光商品の企画販

売実績における日本のトップランナーとして、まちあるきの魅力を伝えていただきました。

第2回目は、各道の歴史や文化を魅力的に伝えるため、ガイドツアーをはじめとした現場（観光施設、店舗、窓口など）での案内に役立つ、ガイドングやおもてなしの基本的な考え方、実践方法を学びました。帝京科学大学教授の古瀬浩史氏は、日本におけるインタープリテーション技術の第一人者として、これまで自らガイドをすると共に、(一社)日本インタープリテーション協会代表理事としてガイドの育成に取り組んできました。南アルプス生態邑の所長の大西信正氏は、「ヘルシー美里」と「南アルプス邑野鳥公園」を拠点に、近隣の自然環境や山里ならではの地域資源を題材にしたガイドツアーを手がけています。また、こうした活動が地域の活性化に具体的に結び付くような取り組みを心がけています。講師のお二人は、いずれも山梨県内で活躍されている、知的好奇心をくすぐる楽しい解説のスペシャリストです。

これらの研修会から得られたガイダンスの手法と共に、事業としてこうした活動を行っていく上でのヒントを、以下に列挙しました。

図表：魅力向上・おもてなし研修会の開催概要

開催日	テーマ	講師
<第1回> 令和3年10月15日(金)	「やまなし歴史の道」を通じて伝えたい魅力やストーリーについて	山梨県立博物館学芸幹 森原明廣 山梨県庁に文化財の専門職員として入庁。2005年10月に「富士山世界文化遺産登録庁内プロジェクトチーム」に異動、以後、8年にわたり富士山の世界遺産登録に関わる。「やまなし歴史の道ツーリズム」の基礎である『山梨県歴史の道ガイドブック』の編纂に関わった。
	歴史や文化を活用した観光商品化の取組事例について	まいまい京都主宰 以倉敬之 京都の住民がガイドする京都のミニツアー「まいまい京都」の主宰。御用庭師や考古学者、鉄道フリークなど、300人を超えるバラエティ豊かなガイドと共に、年間約700コースのまち歩きツアーを開催している。NHK「プラタモリ」に企画協力している。

開催日	テーマ	講師
<第2回> 令和3年11月15日(月)	伝えるとは何か？インタープリテーションの実践	帝京科学大学教授 (一社)日本インタープリテーション協会代表理事 古瀬浩史 エコツーリズム地域、遺産地域などにおけるインタープリテーション全体計画、ガイド(プロおよびボランティア)の養成、プログラム開発などが専門。所属する日本インタープリテーション協会では、2020年度から観光ガイド等に最適化した、インタープリテーションの研修プログラムの開発に取り組んでおり、観光関係者(窓口案内係、ガイド、ミュージアム等職員)などを対象とした人材育成の多様なプログラムを提供している。
	お客様に伝わるガイドとおもてなし	株式会社生態計画研究所早川事業所長 大西信正 1989年より宮城県金華山島のニホンジカの研究を始める。1992年より長野県軽井沢の(株)ピッキオに所属し17年間、自然ガイドを行った。2008年より(株)生態計画研究所に入社。山梨県早川町に赴任し、旧中学校を改装した宿泊施設「ヘルシー美里」と「南アルプス邑野鳥公園」を拠点に環境教育の推進と地域活性化に取り組んでいる。モットーは「思いやりの心と科学の目」。

(1) 地域主体の企画・販売の方法 (まいまい京都の事例より)

<町中をうろろろするツアーを展開>

「まいまい」というのは、京ことばで「うろろろする」という意味。「まいまい京都」は京都の住民が京都の町をガイドするミニツアーです。私自身はこうしたツアーを作り、販売し、時にはガイドも行っています。2019年に実施したツアー数は720コース、延べ参加者は約4万人。2020年以降はオンラインツアーの実施でも注目いただいています。

<まちの魅力は“ヒト”>

「まいまい京都」のツアーの要は“ヒト”です。町の一番の魅力は、面白い人がたくさんいるということ。まちで働く人、御用庭師や僧侶など普段はあまり話を聞くことができない職業の方々など、町の方々との交流を通して、話を聞き、体験し、同じ時間を過ごすことで、町の中は本当に面白いものであふれていることに気が付

ます。これが「まいまい京都」最大の“ウリ”です。知識を押し付けるだけのガイドでは参加者



が疲弊してしまうため、ガイド自身が仕事や趣味、暮らしなどに愛情や情熱を持っていることが重要です。何事にも熱心に、愛情をもって取り組んでいる方は、それだけでその方自身がコンテンツとなります。そういった方の愛情が参加者に伝わることによって、案内された仕事や趣味、暮らしに参加者自身が愛着を持ち、その町を好きになることにつながります。ガイドと参加者が一緒になって町を愛おしむことができれば、更に良いツアーとなるでしょう。

<地元への愛情・ありのままを体験する>

最も一般的なまちあるきツアーは、“地元への愛情”